

今年1年が良い年でありますように 北保育園で団子さし

北保育園のお正月恒例の行事「団子さし」を、1月8日に開催しました。1月15日の小正月に、五穀豊穡と無病息災を願い行われる伝統行事。北保育園では園児の祖父母や地域の方も一緒に参加し、10年以上前から毎年行っています。みんなできねと臼でもちつきを体験した後、園児たちのかわいい手で小さな団子に丸め、一つ一つミズキの枝に飾り付けていきました。団子を飾る時に、今年が良い年になるようにと願いを込めるこの行事。「ママの赤ちゃんが元気に生まれますように」など、園児たちは思い思いの願いを込めて飾り付けていました。



▲願いを込めて、自分で丸めた団子を飾り付ける園児たち

形はなくなっても思い出は心の中に 南中学校旧校舎ありがとう清掃



▲思い出を振り返るように廊下や階段を磨きました

南中学校旧校舎が解体される直前の12月14日、旧校舎への感謝の意を込めた「ありがとう清掃」が行われました。この行事は、「解体前に校舎をきれいにしたい」と生徒自らが働き掛けて実施したものです。

当日は、在校生や同窓生など約80人が参加。これまでの思い出を振り返りながら、廊下や階段などを丁寧に磨いていました。生徒会長の梶川大輔くん(2年)は、「去年の夏から清掃をしていなかった校舎でしたが、以前と同じくらいきれいになって良かったです」と笑顔で話してくれました。

安全で安心できるまちづくりを! 平成22年白石市消防出初式

ホワイトキューブで1月11日、正月の恒例行事である消防出初式を開催しました。

本年は、市内で不審火による火災が多発しているため、予定していた消防団階子乗り隊の演技披露やひかり幼稚園幼年消防クラブによるアトラクション、消防車両70台によるパレードを中止。消防団による広報と警戒パトロールを優先させるというものです。

式典開催中も、消防団の消防車両8台が、それぞれの地域を巡回していました。消防団の皆さん、安全で安心して暮らせるまちづくりのため、よろしくお願いします。



▲各地域の警戒パトロールに出発する消防車両

薬物乱用は、やり直せない失敗である 白石高校定時制で薬物乱用防止教室



▲薬物乱用はやり直せない失敗と語る富岡さん

12月17日、白石高校定時制(千田芳文校長)で白石益岡ライオンズクラブ(糠澤誠会長)主催の薬物乱用防止教室が開催されました。同クラブでは、若い世代に薬物の恐ろしさと危険性を理解してもらおうと、平成19年から毎年、市内の小中学校と高校で開催しています。

この日は、生徒と教員を前に、富岡和弘さんが、ビデオやスライドを使いながら分かりやすく説明。毎日のように報道されている薬物乱用事件のように、たった一度の好奇心で一生が台無しにならないよう、富岡さんは薬物乱用の恐ろしさを訴えていました。

走るって、気持ちいい! 白石城一周元旦マラソン

2010年の元旦、今年で47回目を迎えた白高陸上競技部OB会(菱沼宏一郎会長)主催の「白石城一周元旦マラソン」が、白石城周辺で開催されました。集まったランナーたちは、新春の白石城周辺を駆け抜け、走ることの気持ちよさを全身で感じていました。

今年は、大みそかから降り出した雪が元旦まで降り続くという、あいにくの天候の中でのスタートとなりました。雪にもかかわらず白高陸上競技部OBや親子など約60人の市民が参加。降りしきる雪も何するものぞと、一周2.5キロメートルのコースを全員が無事完走しました。



▲雪のため神社階段下からスタート

輝かしい新年を願って 除夜の鐘を鳴らす会



▲志望校合格を願って訪れた中学生3人

大みそか夜の恒例行事「除夜の鐘を鳴らす会」が12月31日、白石城本丸内の鐘堂で開催されました。

深夜の厳しい寒さと大雪にもかかわらず、家族連れやカップル、友達同士など多くの市民の皆さんが参加しました。開始時刻の23時30分にはすでに長い行列ができ、約160人がそれぞれの願いを託すように鐘を打ち鳴らしていました。

「家族みんなが健康でありますように」「志望校に合格しますように」など、新しい年が良い年になるように、それぞれの願いを込めて新年を迎えていました。

みんなで伝統を受け継ぐしめ縄づくり 小原たいけん教室

子どもたちが地域の文化に触れあいながら学ぶ「小原たいけん教室」が12月20日、検断屋敷で開催されました。本年度4回目となる今回の教室には、小原小中学校の児童・生徒約30人が参加。しめ縄づくりと、きねと臼を使った昔ながらのもちつきを体験しました。

慣れない縄結いに四苦八苦していた子どもたちも、しめ縄が完成すると自分で作ったしめ縄を見ながら満足そうに笑みを浮かべていました。講師を務めた長島正さんは、「子どもたちと触れ合うのは楽しい。そして伝統を受け継いでくれればね」と笑顔で話してくれました。



▲長島さん(写真右)の手付きを真剣に見つめる子どもたち

大雪にも負けずサッカーマンが集結! 2010元旦けり初め



▲雪の中、大人も子どもも全力でプレーしていました

元旦のサッカーマン恒例行事となっている「けり初め」が1月1日、白石川サッカー公園で開催されました。白石サッカー協会が主催し、今年で42回目を迎えたこのイベント。毎年大人から子どもまで多くの市民の皆さんが参加しています。

今年は、前日の大みそかからの大雪で、グラウンドには約20センチメートルもの雪が降り積もる悪条件。そんな中でも、小学生からシニアまで約50人が参加し、大雪にも負けず、楽しく、そして真剣にひとつのボールを追い掛けていました。